

# カラムのスタートアップ方法

## はじめに

新規に購入したカラム（ガードカラム、分離カラム、濃縮カラム）には、保存液が充填されています。また、しばらく使用していなかったカラムには古い溶離液が充たされており、そのまま装置に取り付けて使用すると、下流に接続されているサプレッサーや検出器セルを汚染する可能性があります。そのためご使用前にカラムのスタートアップを行い、古い溶離液を新しい溶離液に置換する必要があります。なお以下のカラムには、特殊なスタートアップが必要です。それぞれのカラム取扱説明書を参照し、スタートアップを行ってください。

※特殊なスタートアップが必要なカラム製品（2021年7月時点）

- Thermo Scientific™ Dionex™ IonPac™ CS16-4μm 陽イオン交換カラム
- Thermo Scientific™ Dionex™ IonPac™ CS19 陽イオン交換カラム
- Thermo Scientific™ Dionex™ IonPac™ CS19-4μm 陽イオン交換カラム
- Thermo Scientific™ Dionex™ IonPac™ AS30 陰イオン交換カラム

トラップカラム製品全般

## ご注意

スタートアップ中はサプレッサーやトラップカラム（CR-TC）の再生液ラインに液が流れません。サプレッサーとCR-TCは必ずOffにして操作をしてください。

## スタートアップの手順

ガードカラムと分離カラムの両方を交換する場合は、はじめにガードカラムだけをスタートアップします。その後、分離カラムを取り付け分離カラムのスタートアップを行います。

1. 装置から古いカラムを取り外します。
2. カラムのラベルには、溶離液の流れる向きが矢印で記載されています。（図1）矢印の向きに合わせて新しいカラムを取り付け、カラムの出口を排液チューブに接続します。（図2）

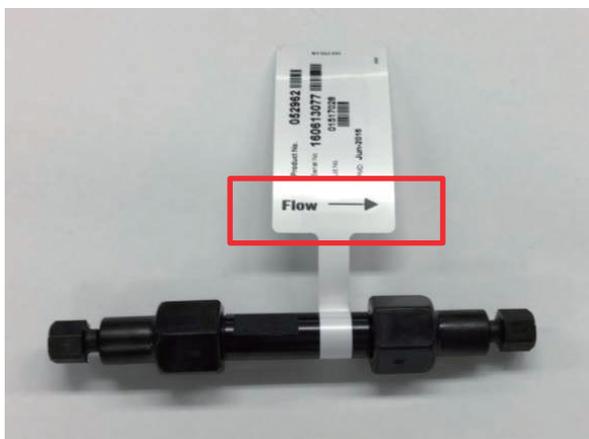


図1. カラムに溶離液が流れる向き



図2. カラムのスタートアップ中の配管

スタートアップするカラムの出口を排液チューブに接続

※装置の設定によりガードカラムや濃縮カラムのスタートアップ中に低圧エラーが発生する場合があります。その場合は、スタートアップ中のカラムの出口にシステム圧力が300 psi以上になるように背圧コイルを取り付け、排液チューブに接続してください。背圧コイルは4 mm径のカラムの場合、50~100 cmの赤色PEEKチューブ、2 mm径のカラムの場合、30~100 cmの黄色PEEKチューブを使用します。

3. 分析に使用する流量でポンプをOnにして、カラムの種類ごとに必要な時間、溶離液を送液します。(表1) グラジエント分析を行っている場合は、最高濃度に調整した溶離液を送液してください。

表1 カラムの種類と溶離液の送液時間

カラムの種類	送液時間
濃縮カラム	10~30分
ガードカラム	10~30分
分離カラム	30~60分

以上でカラムのスタートアップは完了です。配管を元に戻し、分離やピーク形状の確認を実施してください。

研究用のみ使用できます。診断用には使用いただけません。  
© 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.  
All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.  
実際の価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。  
価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
標準販売条件はこちらをご覧ください。thermofisher.com/jp-tc **IES080-A21080B**

## サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

カスタマーサポート本部

TEL: 0120-753-670 FAX: 0120-753-671

Support.jp@thermofisher.com

facebook.com/ThermoFisherJapan

@ThermoFisherJP

thermofisher.com